

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2010年6月調査）

2010年8月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2010年4～6月の実績と2010年7～9月の見通しを6月初旬時点でうかがったものであり、1,084社からご協力をいただき、回答率は43.4%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

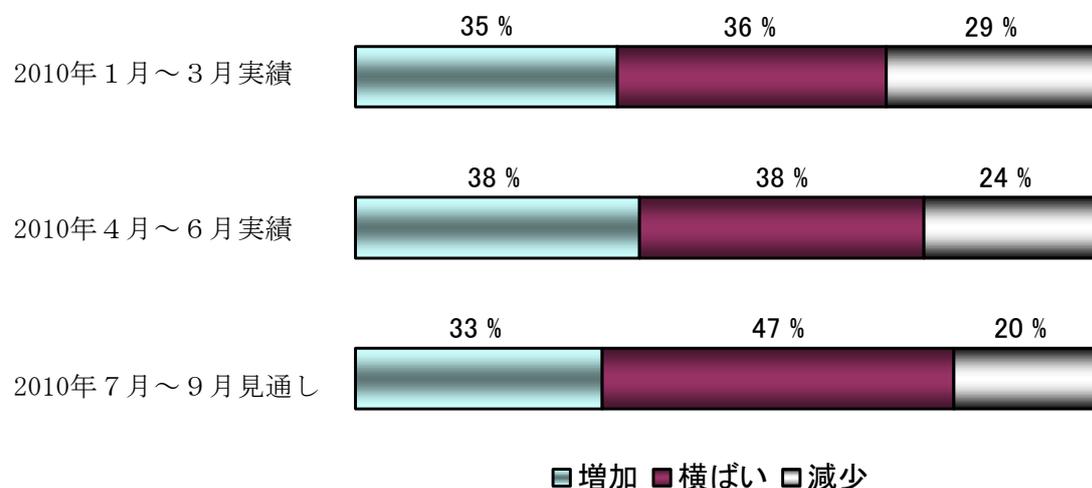
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	105	45.3
	繊 維 ・ 衣 服	111	47	42.3
	木 材 ・ 家 具	96	40	41.7
	パ ル プ ・ 紙	107	50	46.7
	化学・プラスチック	238	114	47.9
	窯 業 ・ 土 石	102	42	41.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	111	56.6
	金 属 製 品	128	53	41.4
	一 般 機 械	222	93	41.9
	電 気 機 械	333	138	41.4
	輸 送 用 機 械	250	94	37.6
	精 密 機 械	67	22	32.8
	そ の 他	167	61	36.5
計		2,249	970	43.1
卸 売 業	生 産 財	124	63	50.8
	消 費 財	127	51	40.2
	計	251	114	45.4
合 計		2,500	1,084	43.4

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

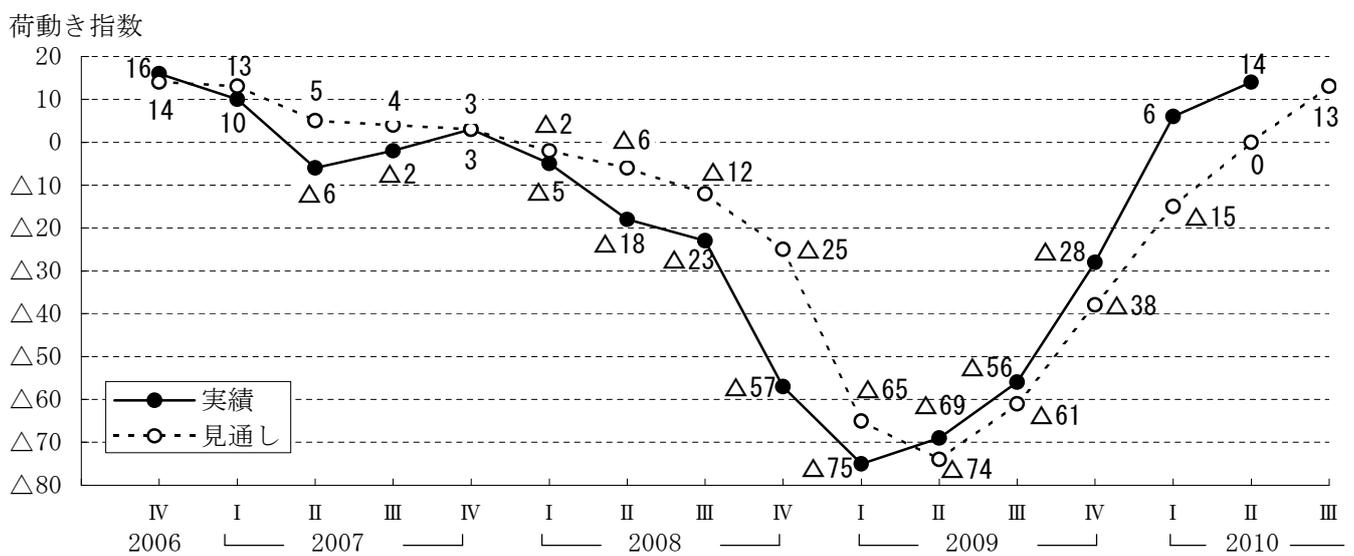
- 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績より3ポイント上昇し38%となった。一方、「減少」との回答は前期より5ポイント低下し24%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は8ポイント上昇してプラス14となった。
- 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）より5ポイント低下し33%となるが、「減少」との回答も4ポイント低下して20%になる。この結果『荷動き指数』は弱含み横ばいでプラス13と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、1～3 月実績ではプラス 6 と前期までのマイナスからプラスに反転し、4～6 月実績（見込み）でもプラス 14 とプラス幅が拡大した。7～9 月見通しではプラス 13 と、増勢は一段落するものの引き続き 2 ケタのプラスを維持しよう。このように、2010 年に入ってから荷動きの回復が続いているが、前年までの大幅減に対する反動増の要素も大きく、先行きについては不透明感が残っている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2010年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2010年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、卸売業（生産財および消費財）と、製造業のうち木材・家具、食料品・飲料、繊維・衣服の計5業種がマイナスを示し、残り10業種がプラスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、引き続き卸売業はマイナスにとどまり、製造業では金属製品がマイナスに反転する。この結果、全15業種中9業種がプラス、6業種がマイナスとなるが、総じて生産財には荷動きの回復がみられるのに対して、消費財については回復の動きが鈍い。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	103	21	44	35	△14	104	17	58	25	△8	
繊維・衣服	47	26	40	34	△8	47	19	55	26	△7	
木材・家具	40	19	43	38	△19	40	17	50	33	△16	
パルプ・紙	48	42	31	27	15	47	32	38	30	2	
化学・プラスチック	114	44	42	14	30	114	39	46	15	24	
窯業・土石	40	35	43	22	13	41	37	51	12	25	
鉄鋼・非鉄	109	56	22	22	34	110	50	29	21	29	
金属製品	49	33	45	22	11	49	24	49	27	△3	
一般機械	92	37	39	24	13	92	33	47	20	13	
電気機械	135	47	34	19	28	135	42	39	19	23	
輸送用機械	93	46	35	19	27	93	41	46	13	28	
精密機械	20	60	20	20	40	20	50	40	10	40	
その他	59	51	36	13	38	59	48	44	8	40	
計	949	40	37	23	17	951	36	45	19	17	
卸売業	生産財	63	17	54	29	△12	61	20	57	23	△3
	消費財	49	14	51	35	△21	49	8	70	22	△14
	計	112	16	53	31	△15	110	14	63	23	△9
合計	1,061	38	38	24	14	1,061	33	47	20	13	

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、ほとんどの地域で2ケタのプラスを示したが、北海道のみ2ケタのマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、引き続き北海道のみマイナスにとどまり、残りの地域ではプラスを示す。もっとも、東北、東海、中国、四国ではプラス幅の縮小が見込まれるのに対して、北陸・信越および九州・沖縄ではプラス幅が拡大するなど、荷動き回復の動きには地域による跛行性がみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

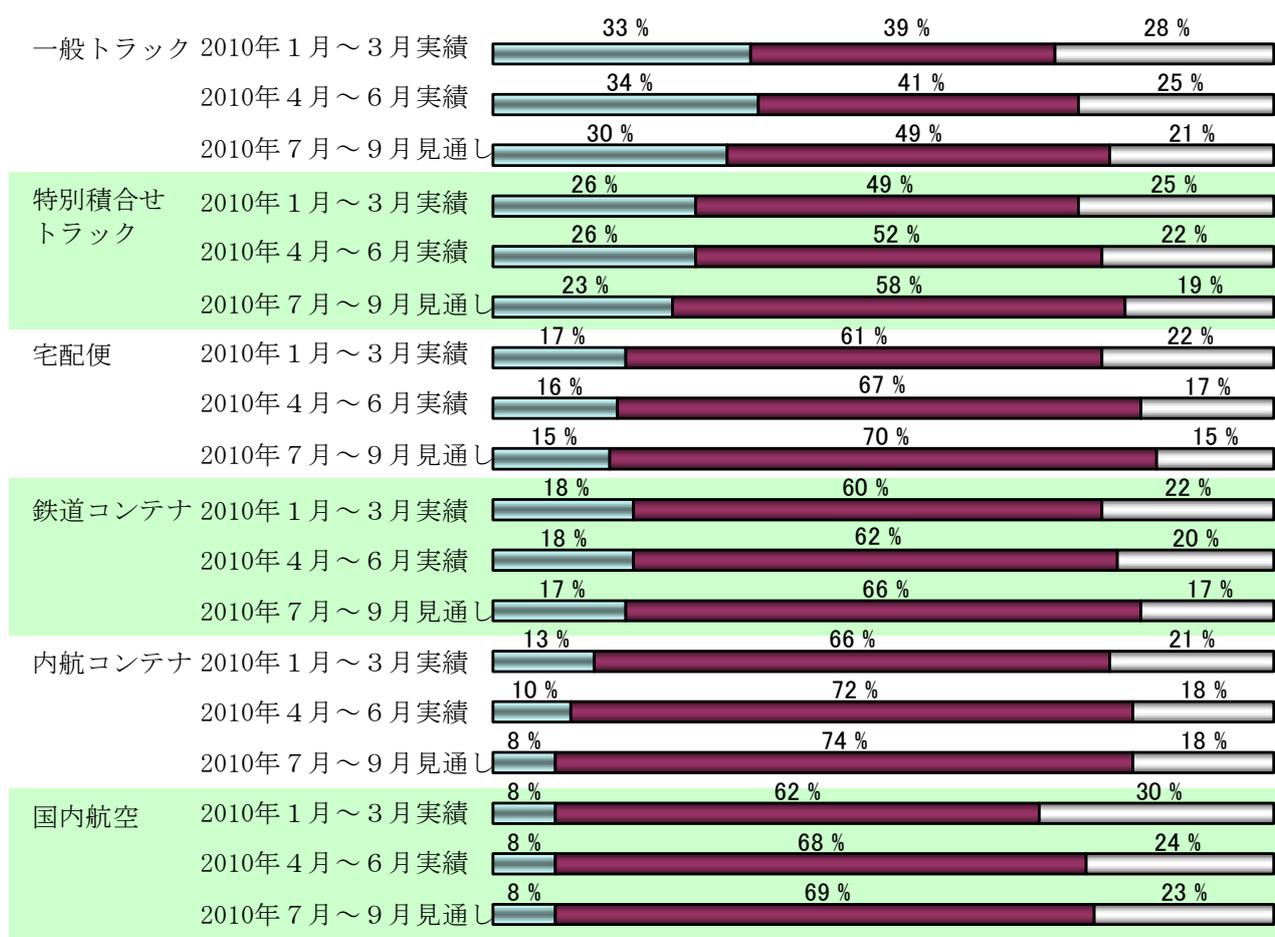
地 域	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	48	18	40	42	△ 24	47	17	53	30	△ 13
東 北	92	37	39	24	13	92	27	50	23	4
関 東	256	39	34	27	12	256	33	46	21	12
北 陸 ・ 信 越	116	44	34	22	22	116	44	41	15	29
東 海	141	43	37	20	23	141	40	40	20	20
近 畿	163	38	34	28	10	164	32	46	22	10
中 国	106	38	47	15	23	105	32	52	16	16
四 国	61	36	44	20	16	61	25	59	16	9
九 州 ・ 沖 縄	78	31	49	20	11	79	34	47	19	15
合 計	1,061	38	38	24	14	1,061	33	47	20	13

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、一般トラックおよび特別積合せトラックではプラスを示したが、残りの輸送機関ではマイナスとなった。もともと、宅配便および鉄道コンテナでは水面直下にとどまり、内航コンテナや国内航空に比べて利用の下押し圧力は弱い。前期（1～3月）実績との比較では、内航コンテナを除いて『利用動向指数』の上昇がみられた。

■ 7～9月の見通しでは、各輸送機関とも『利用動向指数』は小幅の変化で推移しよう。この結果、一般トラックおよび特別積合せトラックでは荷動きの回復が続き、宅配便および鉄道コンテナでも荷動きの下げ止まりが期待できるが、内航コンテナおよび国内航空では引き続き荷動きは減退する見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■ 増加 ■ 横ばい □ 減少

(1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具など5業種がマイナスで、残り10業種がプラスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス9で、前期（1～3月）実績との比較では4ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙および金属製品がマイナスに落ち込む一方、卸売業ではマイナス幅が縮小するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『利用動向指数』は横ばいでの推移が見込まれる。この結果、一般トラックはすべての輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも高く、利用拡大が続く見通しである。

一般トラック利用の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	100	20	42	38	△18	98	16	56	28	△12
繊維・衣服	40	33	27	40	△7	40	19	58	23	△4
木材・家具	39	15	49	36	△21	38	16	47	37	△21
パルプ・紙	50	40	28	32	8	50	28	38	34	△6
化学・プラスチック	113	39	46	15	24	112	36	49	15	21
窯業・土石	39	36	46	18	18	39	33	52	15	18
鉄鋼・非鉄	108	55	23	22	33	107	49	34	17	32
金属製品	52	27	48	25	2	52	25	48	27	△2
一般機械	87	33	42	25	8	87	31	49	20	11
電気機械	128	37	44	19	18	128	32	46	22	10
輸送用機械	91	38	43	19	19	91	37	45	18	19
精密機械	19	47	32	21	26	19	42	42	16	26
その他	58	45	41	14	31	58	40	48	12	28
計	924	36	40	24	12	919	32	47	21	11
卸売業										
生産財	58	16	55	29	△13	57	16	58	26	△10
消費財	47	13	53	34	△21	45	9	69	22	△13
計	105	14	55	31	△17	102	12	63	25	△13
合計	1,029	34	41	25	9	1,021	30	49	21	9

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、化学・プラスチックなど7業種がプラス、パルプ・紙および精密機械がゼロ水準で、消費財卸など6業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』はプラス4で、前期（1～3月）実績からは3ポイントの上昇となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに上昇する一方、パルプ・紙、金属製品、精密機械がマイナスに沈むなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『利用動向指数』は横ばいで推移しよう。この結果、緩やかながら利用拡大が続く見通しである。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	59	19	56	25	△6	58	14	64	22	△8
繊維・衣服	38	22	39	39	△17	36	22	47	31	△9
木材・家具	29	17	55	28	△11	29	10	69	21	△11
パルプ・紙	25	32	36	32	0	25	20	44	36	△16
化学・プラスチック	97	31	61	8	23	97	27	65	8	19
窯業・土石	28	29	39	32	△3	28	29	57	14	15
鉄鋼・非鉄	70	37	42	21	16	69	36	47	17	19
金属製品	37	22	65	13	9	37	16	62	22	△6
一般機械	69	23	55	22	1	68	22	59	19	3
電気機械	104	34	47	19	15	103	28	49	23	5
輸送用機械	66	27	55	18	9	66	27	58	15	12
精密機械	13	31	38	31	0	13	23	31	46	△23
その他	47	32	53	15	17	46	30	59	11	19
計	682	28	51	21	7	675	25	56	19	6
卸売業										
生産財	46	17	53	30	△13	46	13	63	24	△11
消費財	33	3	70	27	△24	31	3	78	19	△16
計	79	11	60	29	△18	77	9	69	22	△13
合計	761	26	52	22	4	752	23	58	19	4

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械など6業種がプラス、金属製品および輸送用機械がゼロ水準で、木材・家具など7業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△1で、前期（1～3月）実績より4ポイント改善した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服、金属製品、輸送用機械がマイナスに沈むものの、食料品・飲料、木材・家具などはマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は強含み横ばいで推移する見通しで、利用の下げ止まりが見込まれる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	68	2	74	24	△ 22	67	6	73	21	△ 15
繊維・衣服	38	24	58	18	6	38	16	66	18	△ 2
木材・家具	35	2	69	29	△ 27	35	9	71	20	△ 11
パルプ・紙	26	7	62	31	△ 24	26	4	65	31	△ 27
化学・プラスチック	89	9	80	11	△ 2	89	7	84	9	△ 2
窯業・土石	28	18	61	21	△ 3	28	11	75	14	△ 3
鉄鋼・非鉄	70	17	70	13	4	70	17	73	10	7
金属製品	47	17	66	17	0	47	15	66	19	△ 4
一般機械	88	23	61	16	7	88	23	63	14	9
電気機械	117	27	52	21	6	117	26	53	21	5
輸送用機械	69	16	68	16	0	69	13	73	14	△ 1
精密機械	21	38	48	14	24	21	33	57	10	23
その他	45	24	69	7	17	45	22	74	4	18
計	741	17	66	17	0	740	16	68	16	0
卸売業										
生産財	50	10	72	18	△ 8	49	10	76	14	△ 4
消費財	34	6	76	18	△ 12	34	9	76	15	△ 6
計	84	8	74	18	△ 10	83	10	76	14	△ 4
合計	825	16	67	17	△ 1	823	15	70	15	0

(4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、金属製品および電気機械がゼロ水準で、消費財卸など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△2で、前期（1～3月）実績からは小幅の改善がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械がマイナスに沈むものの、食料品・飲料および一般機械がプラスに反転することなどにより、業種全体の『利用動向指数』は小幅ながらさらに上昇してゼロ水準まで戻す。この結果、利用の下げ止まりが期待される。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	44	18	62	20	△2	43	16	70	14	2
	繊維・衣服	13	7	62	31	△24	13	7	62	31	△24
	木材・家具	18	5	56	39	△34	18	0	67	33	△33
	パルプ・紙	31	9	65	26	△17	31	6	62	32	△26
	化学・プラスチック	80	28	59	13	15	80	23	68	9	14
	窯業・土石	17	5	71	24	△19	17	6	76	18	△12
	鉄鋼・非鉄	41	34	59	7	27	41	32	63	5	27
	金属製品	18	17	66	17	0	18	17	72	11	6
	一般機械	32	9	69	22	△13	33	18	70	12	6
	電気機械	40	20	60	20	0	40	17	60	23	△6
	輸送用機械	23	22	74	4	18	23	26	70	4	22
	精密機械	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	その他の	30	20	63	17	3	29	24	62	14	10
計	395	19	63	18	1	394	18	67	15	3	
卸 売 業	生産財	14	14	50	36	△22	14	14	50	36	△22
	消費財	17	6	53	41	△35	17	6	65	29	△23
	計	31	9	52	39	△30	31	10	58	32	△22
合計	426	18	62	20	△2	425	17	66	17	0	

(5) 内航コンテナ

- 4～6 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械が唯一プラスを示すほかは、繊維・衣服など 5 業種がゼロ水準、電気機械など 9 業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△8 で、前期（1～3 月）実績からは横ばいで推移した。
- 7～9 月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石など 3 業種がプラスに上昇するものの、一般機械がマイナスに沈むことなどにより、依然として全 15 業種中 9 業種がマイナスを示す。業種全体の『利用動向指数』は小幅ながらさらに低下して△10 となり、利用減退が続く見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	28	4	75	21	△ 17	28	3	79	18	△ 15
繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
木材・家具	10	10	70	20	△ 10	10	10	70	20	△ 10
パルプ・紙	21	9	67	24	△ 15	21	4	67	29	△ 25
化学・プラスチック	47	13	74	13	0	47	15	72	13	2
窯業・土石	13	0	92	8	△ 8	13	8	92	0	8
鉄鋼・非鉄	24	13	74	13	0	24	17	71	12	5
金属製品	17	12	76	12	0	17	12	76	12	0
一般機械	32	13	74	13	0	32	6	85	9	△ 3
電気機械	34	3	68	29	△ 26	34	3	65	32	△ 29
輸送用機械	23	30	66	4	26	23	17	74	9	8
精密機械	5	0	80	20	△ 20	5	0	80	20	△ 20
その他の	21	9	67	24	△ 15	21	9	67	24	△ 15
計	281	10	74	16	△ 6	281	9	75	16	△ 7
卸売業										
生産財	13	15	47	38	△ 23	13	8	54	38	△ 30
消費財	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
計	21	10	57	33	△ 23	21	5	62	33	△ 28
合計	302	10	72	18	△ 8	302	8	74	18	△ 10

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラス業種は皆無で、鉄鋼・非鉄および消費財卸がゼロ水準にとどまるほかは、残り13業種がすべてマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△16で、前期（1～3月）実績との比較では6ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がプラスに上昇するものの、鉄鋼・非鉄はマイナスに沈み、この結果、全15業種中消費財卸が唯一プラスで、残り14業種がマイナスとなる。業種全体の『利用動向指数』は強含み横ばいで推移する見通しで、国内航空はすべての輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退圧力が大きい。

国内航空利用の実績と見通し

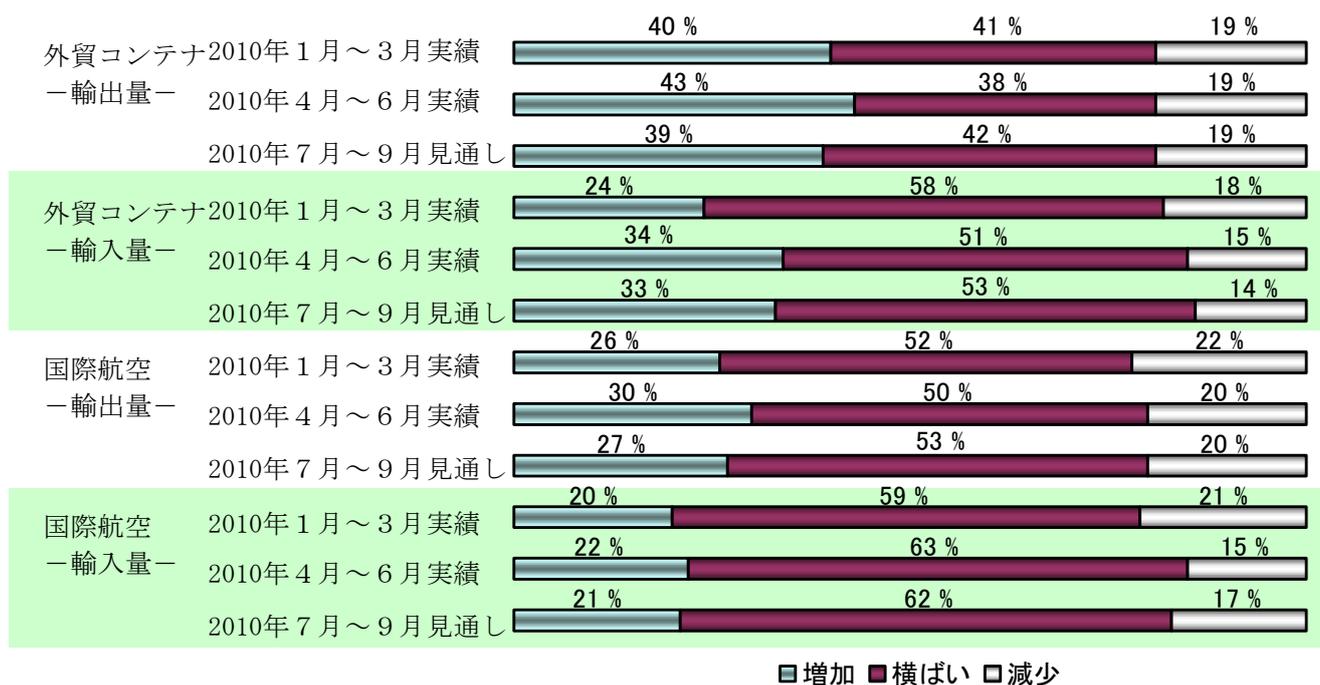
業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	20	0	80	20	△20	20	0	80	20	△20
	繊維・衣服	10	0	70	30	△30	10	0	80	20	△20
	木材・家具	8	0	63	37	△37	8	12	50	38	△26
	パルプ・紙	8	12	38	50	△38	8	0	50	50	△50
	化学・プラスチック	36	8	81	11	△3	36	6	86	8	△2
	窯業・土石	11	0	55	45	△45	11	0	64	36	△36
	鉄鋼・非鉄	23	13	74	13	0	23	13	70	17	△4
	金属製品	16	0	81	19	△19	16	0	75	25	△25
	一般機械	51	5	75	20	△15	51	4	78	18	△14
	電気機械	69	17	55	28	△11	69	16	52	32	△16
	輸送用機械	29	6	66	28	△22	29	10	66	24	△14
精密機械	12	8	75	17	△9	12	8	75	17	△9	
その他	20	0	85	15	△15	20	0	85	15	△15	
計	313	8	69	23	△15	313	7	70	23	△16	
卸売業	生産財	14	0	57	43	△43	14	0	57	43	△43
	消費財	12	25	50	25	0	12	25	58	17	8
	計	26	11	54	35	△24	26	11	58	31	△20
合計	339	8	68	24	△16	339	8	69	23	△15	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナ、国際航空とも前期（1～3 月）実績から上昇し、国際航空の輸入も前期のマイナスからプラスに反転した。この結果、輸出入貨物の『荷動き指数』はすべてプラスを示した。

■ 7～9 月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナの輸入は横ばいを維持するが、外貿コンテナの輸出および国際航空の輸出・輸入では数ポイントの低下が見込まれる。この結果、輸出入貨物は引き続き荷動き回復の方向にあるものの、やや力強さに欠ける展開となろう。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、生産財卸など3業種がマイナス、パルプ・紙がゼロ水準で、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス24で、前期（1～3月）実績より3ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、生産財卸が水面まで上昇する一方、パルプ・紙がマイナスに落ち込み、電気機械などでもプラス幅が縮小する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は4ポイント低下してプラス20と見込まれ、荷動きは拡大が続くものの、増勢は鈍化する見通しである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	12	8	67	25	△17	12	8	67	25	△17	
繊維・衣服	9	56	44	0	56	9	33	67	0	33	
木材・家具	5	20	80	0	20	5	40	60	0	40	
パルプ・紙	15	33	33	33	0	15	27	20	53	△26	
化学・プラスチック	60	50	35	15	35	60	48	42	10	38	
窯業・土石	22	59	27	14	45	22	50	32	18	32	
鉄鋼・非鉄	48	48	40	12	36	48	40	52	8	32	
金属製品	16	31	44	25	6	16	31	44	25	6	
一般機械	60	42	30	28	14	60	37	35	28	9	
電気機械	66	44	41	15	29	66	38	47	15	23	
輸送用機械	47	49	38	13	36	47	53	32	15	38	
精密機械	16	31	44	25	6	16	31	44	25	6	
その他	31	49	32	19	30	32	41	41	18	23	
計	407	44	38	18	26	408	40	42	18	22	
卸売業	生産財	11	27	27	46	△19	11	27	46	27	0
	消費財	10	20	50	30	△10	10	20	40	40	△20
	計	21	24	38	38	△14	21	24	43	33	△9
合計	428	43	38	19	24	429	39	42	19	20	

(2) 外貿コンテナ -輸入-

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具および消費財卸の 2 業種がマイナス、金属製品がゼロ水準で、残り 12 業種がプラスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス 19 で、前期（1～3 月）実績からは 13 ポイント上昇した。

■ 7～9 月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品がプラスに上昇し、木材・家具も水面まで戻す一方、パルプ・紙はマイナスに反転するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『荷動き指数』は横ばいで推移しよう。この結果、荷動きは拡大が続く見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	17	35	53	12	23	17	24	65	11	13
繊維・衣服	14	29	50	21	8	14	29	57	14	15
木材・家具	10	10	50	40	△ 30	10	20	60	20	0
パルプ・紙	12	33	42	25	8	12	25	42	33	△ 8
化学・プラスチック	54	28	63	9	19	54	33	61	6	27
窯業・土石	20	45	45	10	35	20	40	50	10	30
鉄鋼・非鉄	33	21	64	15	6	33	24	67	9	15
金属製品	15	20	60	20	0	15	27	53	20	7
一般機械	54	31	50	19	12	54	30	48	22	8
電気機械	63	46	43	11	35	63	41	48	11	30
輸送用機械	50	42	52	6	36	50	42	50	8	34
精密機械	15	40	40	20	20	15	33	40	27	6
その他の	29	31	52	17	14	30	33	50	17	16
計	386	34	52	14	20	387	33	53	14	19
卸売業										
生産財	14	29	57	14	15	14	36	57	7	29
消費財	18	33	28	39	△ 6	18	22	45	33	△ 11
計	32	31	41	28	3	32	28	50	22	6
合計	418	34	51	15	19	419	33	53	14	19

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械など5業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、生産財卸など5業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス10で、前期（1～3月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品がマイナスに落ち込むほか、ほとんどの業種で『荷動き指数』は横ばいないしは悪化が見込まれる。この結果、業種全体の『荷動き指数』はプラス7と3ポイント低下する見通しで、荷動きの回復が続くものの、その勢いは力強いとはいえない。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
繊維・衣服	10	20	60	20	0	10	20	60	20	0
木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
パルプ・紙	2	50	0	50	0	2	50	0	50	0
化学・プラスチック	35	26	66	8	18	35	26	66	8	18
窯業・土石	9	22	56	22	0	9	22	56	22	0
鉄鋼・非鉄	24	33	54	13	20	24	29	54	17	12
金属製品	17	24	52	24	0	17	6	76	18	△12
一般機械	60	27	43	30	△3	59	25	46	29	△4
電気機械	79	47	38	15	32	78	42	42	16	26
輸送用機械	33	15	58	27	△12	33	18	55	27	△9
精密機械	16	38	38	24	14	16	38	44	18	20
その他	20	30	50	20	10	20	25	55	20	5
計	316	30	50	20	10	314	28	53	19	9
卸売業										
生産財	12	16	42	42	△26	12	16	42	42	△26
消費財	7	14	57	29	△15	7	0	71	29	△29
計	19	16	47	37	△21	19	10	53	37	△27
合計	335	30	50	20	10	333	27	53	20	7

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械など7業種がプラス、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、窯業・土石など5業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期(1～3月)実績からは8ポイント上昇した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、生産財卸が水面まで浮上する一方、木材・家具がマイナスに落ち込み、金属製品などでもプラス幅が縮小する。この結果、業種全体の『荷動き指数』はプラス4と3ポイント低下する見込みで、荷動きは拡大が続くものの、力強さを欠く動きとなっている。

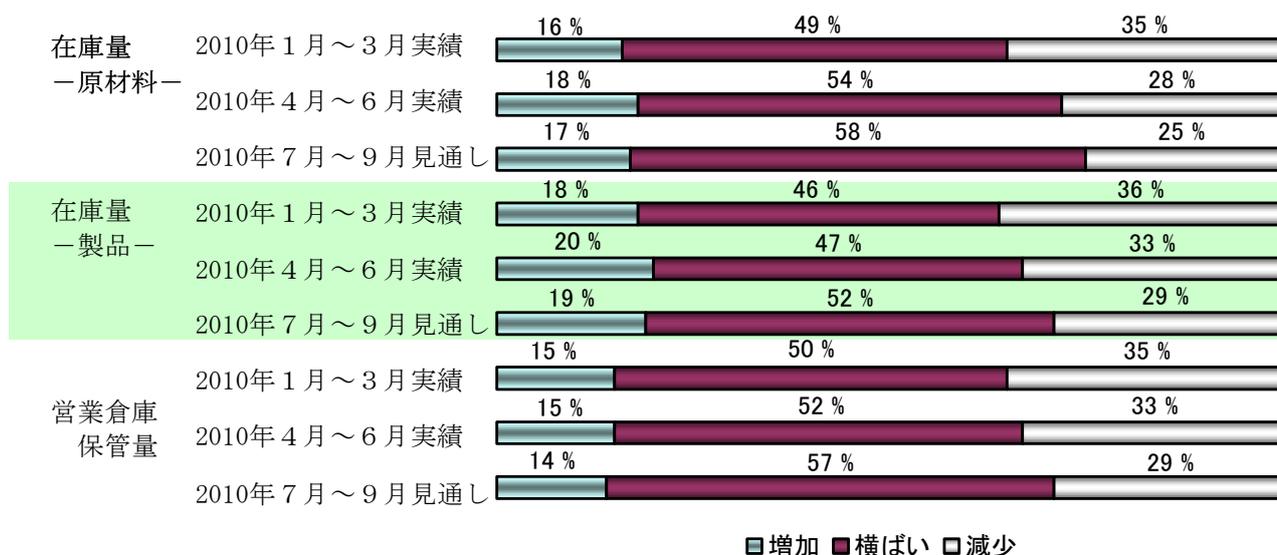
国際航空による輸入量の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
繊維・衣服	8	13	74	13	0	8	13	74	13	0
木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	67	33	△ 33
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	32	9	85	6	3	32	6	91	3	3
窯業・土石	8	0	50	50	△ 50	8	0	50	50	△ 50
鉄鋼・非鉄	20	20	75	5	15	20	20	70	10	10
金属製品	14	21	72	7	14	14	14	79	7	7
一般機械	45	9	62	29	△ 20	45	11	53	36	△ 25
電気機械	61	49	44	7	42	61	46	48	6	40
輸送用機械	30	20	67	13	7	30	27	57	16	11
精密機械	17	18	76	6	12	17	18	71	11	7
その他の	21	14	67	19	△ 5	21	9	67	24	△ 15
計	268	21	65	14	7	268	21	63	16	5
卸売業										
生産財	11	28	36	36	△ 8	11	36	28	36	0
消費財	10	40	40	20	20	10	30	60	10	20
計	21	33	38	29	4	21	33	43	24	9
合計	289	22	63	15	7	289	21	62	17	4

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

- 4～6月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』は2ケタのマイナスを示した。前期(1～3月)実績との比較では、すべての『動向指数』で改善がみられた。
- 7～9月の見通しについては、いずれの『動向指数』も僅かながら改善が見込まれる。このため、下押し圧力には緩和の兆しが窺えるものの、依然として在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減が続く見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、その他の製造業および電気機械の2業種がプラス、窯業・土石がゼロ水準のほかは、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△10で、前期（1～3月）実績との比較では9ポイントの改善がみられた。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、その他の製造業がマイナスに反転し、電気機械も水面まで下降する一方、窯業・土石はプラスに上昇し、木材・家具や生産財卸などでもマイナス幅が縮小しよう。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△8と小幅の上昇が見込まれるが、依然として原材料在庫は圧縮が続く見通しである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	80	9	60	31	△22	80	10	65	25	△15
	繊維・衣服	44	9	57	34	△25	44	11	62	27	△16
	木材・家具	37	5	52	43	△38	36	14	47	39	△25
	パルプ・紙	44	14	66	20	△6	44	7	70	23	△16
	化学・プラスチック	104	16	61	23	△7	104	13	65	22	△9
	窯業・土石	35	23	54	23	0	36	17	69	14	3
	鉄鋼・非鉄	103	19	53	28	△9	102	20	56	24	△4
	金属製品	49	20	47	33	△13	49	20	51	29	△9
	一般機械	82	17	53	30	△13	82	19	54	27	△8
	電気機械	124	27	48	25	2	124	25	50	25	0
	輸送用機械	84	25	38	37	△12	84	19	46	35	△16
精密機械	20	20	55	25	△5	20	20	55	25	△5	
その他	54	28	54	18	10	54	16	65	19	△3	
計	860	19	53	28	△9	859	17	58	25	△8	
卸売業	生産財	31	10	61	29	△19	30	17	60	23	△6
	消費財	24	16	63	21	△5	24	8	67	25	△17
	計	55	13	62	25	△12	54	13	63	24	△11
合計	915	18	54	28	△10	913	17	58	25	△8	

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、パルプ・紙およびその他の製造業の2業種がプラスで、残り13業種はマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△13で、前期（1～3月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙がマイナスに落ち込むものの、電気機械および輸送用機械がプラスに反転することなどにより、業種全体の『在庫動向指数』は3ポイント上昇して△10と見込まれる。この結果、製品在庫の圧縮圧力には緩和の兆しが窺えるが、回復にはなお遠い。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	86	9	51	40	△ 31	86	12	55	33	△ 21
繊維・衣服	43	14	49	37	△ 23	43	14	56	30	△ 16
木材・家具	36	8	39	53	△ 45	36	14	42	44	△ 30
パルプ・紙	47	23	58	19	4	47	15	66	19	△ 4
化学・プラスチック	112	23	47	30	△ 7	112	21	50	29	△ 8
窯業・土石	37	11	46	43	△ 32	37	8	57	35	△ 27
鉄鋼・非鉄	103	23	42	35	△ 12	102	20	54	26	△ 6
金属製品	47	17	43	40	△ 23	47	17	49	34	△ 17
一般機械	84	18	46	36	△ 18	84	19	46	35	△ 16
電気機械	126	27	44	29	△ 2	126	29	44	27	2
輸送用機械	87	27	44	29	△ 2	87	24	53	23	1
精密機械	20	15	45	40	△ 25	20	20	40	40	△ 20
その他	58	29	45	26	3	58	22	61	17	5
計	886	20	46	34	△ 14	885	20	51	29	△ 9
卸売業										
生産財	56	7	52	41	△ 34	55	9	56	35	△ 26
消費財	41	19	59	22	△ 3	41	10	68	22	△ 12
計	97	12	55	33	△ 21	96	9	62	29	△ 20
合計	983	20	47	33	△ 13	981	19	52	29	△ 10

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6 月実績（見込み）の『保管動向指数』は、その他の製造業が唯一プラスを示し、精密機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り 13 業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△18 で、前期（1～3 月）実績からは小幅の改善がみられた。

■ 7～9 月の『保管動向指数』見通しでは、精密機械および電気機械がプラスに上昇することなどにより、業種全体の『保管動向指数』は△15 と 3 ポイントの改善が見込まれる。このため、削減圧力はやや緩和するが、依然として営業倉庫保管量は圧縮が続くとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

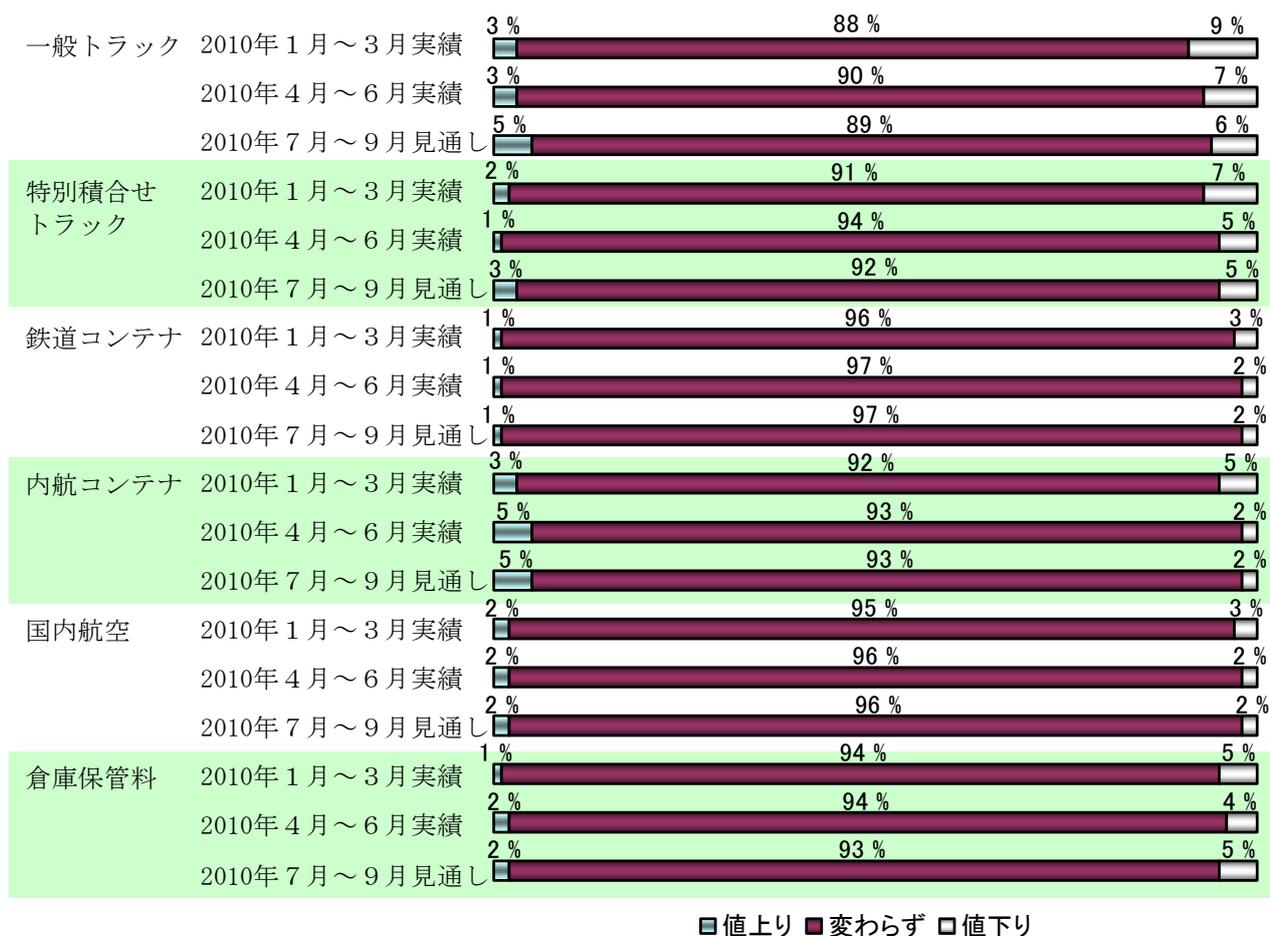
業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食 料 品 ・ 飲 料	67	9	51	40	△ 31	67	10	59	31	△ 21
繊 維 ・ 衣 服	21	9	48	43	△ 34	21	10	52	38	△ 28
木 材 ・ 家 具	26	0	46	54	△ 54	26	8	38	54	△ 46
パ ル プ ・ 紙	40	12	60	28	△ 16	40	9	63	28	△ 19
化学・プラスチック	95	18	55	27	△ 9	95	14	60	26	△ 12
窯 業 ・ 土 石	28	10	54	36	△ 26	28	7	68	25	△ 18
鉄 鋼 ・ 非 鉄	66	7	64	29	△ 22	65	9	74	17	△ 8
金 属 製 品	29	10	45	45	△ 35	29	10	45	45	△ 35
一 般 機 械	59	8	51	41	△ 33	59	10	49	41	△ 31
電 気 機 械	80	26	46	28	△ 2	80	28	48	24	4
輸 送 用 機 械	56	28	36	36	△ 8	56	23	41	36	△ 13
精 密 機 械	15	20	60	20	0	15	20	67	13	7
そ の 他	41	24	54	22	2	41	22	59	19	3
計	623	15	52	33	△ 18	622	14	56	30	△ 16
卸 売 業										
生 産 財	44	11	55	34	△ 23	43	7	63	30	△ 23
消 費 財	33	18	55	27	△ 9	33	3	73	24	△ 21
計	77	14	55	31	△ 17	76	5	67	28	△ 23
合 計	700	15	52	33	△ 18	698	14	57	29	△ 15

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、内航コンテナではプラス、国内航空ではゼロ水準を示すが、その他の機関ではマイナスとなった。前期（1～3月）実績との比較では、各機関とも『動向指数』が上昇方向に動いた。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、総じてみると、各機関とも横ばいないしは小幅の上昇で推移しよう。この結果、運賃・料金の動向は、総じて現状維持の傾向が強いが、内航コンテナではやや上昇、倉庫保管料ではやや下降が見込まれる。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄が唯一プラス、木材・家具など 3 業種がゼロ水準で、残り 11 業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△4 で、前期(1～3 月)実績からは小幅の上昇がみられた。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具、金属製品、輸送用機械がプラスに上昇することなどにより、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇して△1と水面直下まで戻す。このため、運賃水準は概ね下げ止まる見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	98	2	95	3	△1	98	3	94	3	0	
繊維・衣服	37	0	95	5	△5	37	3	92	5	△2	
木材・家具	39	0	100	0	0	39	5	95	0	5	
パルプ・紙	49	8	80	12	△4	49	6	82	12	△6	
化学・プラスチック	112	0	95	5	△5	111	0	97	3	△3	
窯業・土石	37	3	89	8	△5	38	3	89	8	△5	
鉄鋼・非鉄	105	9	84	7	2	105	11	83	6	5	
金属製品	52	6	88	6	0	52	8	87	5	3	
一般機械	87	2	92	6	△4	86	5	88	7	△2	
電気機械	126	4	88	8	△4	126	4	86	10	△6	
輸送用機械	89	7	83	10	△3	89	8	85	7	1	
精密機械	19	5	90	5	0	19	5	90	5	0	
その他	56	2	91	7	△5	56	2	91	7	△5	
計	906	3	90	7	△4	905	5	89	6	△1	
卸売業	生産財	57	2	89	9	△7	56	5	88	7	△2
	消費財	48	2	90	8	△6	48	2	88	10	△8
	計	105	1	90	9	△8	104	3	88	9	△6
合計	1,011	3	90	7	△4	1,009	5	89	6	△1	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具および鉄鋼・非鉄の2業種がプラス、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、残り10業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△4で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸がマイナスに沈む一方、輸送用機械がプラスに上昇し、食料品・飲料および化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△2と小幅ながら上昇が見込まれ、運賃水準の下押し圧力は緩和する見通しである。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	57	0	95	5	△5	57	2	96	2	0
繊維・衣服	37	0	100	0	0	37	3	94	3	0
木材・家具	27	4	96	0	4	27	4	96	0	4
パルプ・紙	25	8	72	20	△12	25	4	80	16	△12
化学・プラスチック	95	0	99	1	△1	94	1	98	1	0
窯業・土石	27	0	93	7	△7	27	0	89	11	△11
鉄鋼・非鉄	69	6	91	3	3	69	7	93	0	7
金属製品	36	0	89	11	△11	36	0	86	14	△14
一般機械	67	0	97	3	△3	67	1	95	4	△3
電気機械	103	2	93	5	△3	103	2	92	6	△4
輸送用機械	63	6	88	6	0	63	8	86	6	2
精密機械	15	7	80	13	△6	15	7	80	13	△6
その他	45	0	96	4	△4	45	0	93	7	△7
計	666	2	93	5	△3	665	3	92	5	△2
卸売業										
生産財	43	0	95	5	△5	43	2	93	5	△3
消費財	30	0	100	0	0	30	0	97	3	△3
計	73	0	97	3	△3	73	1	95	4	△3
合計	739	1	94	5	△4	738	3	92	5	△2

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 4～6月実績(見込み)の『運賃動向指数』は、輸送用機械など3業種がプラス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準で、精密機械など6業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(1～3月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料および一般機械が水面まで浮上する以外、大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいで推移しよう。この結果、運賃水準は引き続き概ね現状維持で推移する見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	44	0	98	2	△2	44	0	100	0	0
繊維・衣服	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
木材・家具	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
パルプ・紙	33	0	94	6	△6	33	0	94	6	△6
化学・プラスチック	79	1	96	3	△2	78	0	99	1	△1
窯業・土石	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
鉄鋼・非鉄	41	0	100	0	0	40	0	100	0	0
金属製品	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5
一般機械	33	0	97	3	△3	34	3	94	3	0
電気機械	39	0	97	3	△3	39	0	95	5	△5
輸送用機械	25	12	88	0	12	25	12	88	0	12
精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
その他	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
計	398	2	96	2	0	397	2	96	2	0
卸売業										
生産財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
消費財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
計	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
合計	426	1	97	2	△1	425	1	97	2	△1

(4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績(見込み)の『運賃動向指数』は、輸送用機械など7業種がプラス、食料品・飲料など6業種がゼロ水準で、精密機械および電気機械の2業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス3で、前期(1～3月)実績からは5ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業が水面まで下降する一方、化学・プラスチックおよび鉄鋼・非鉄はプラスに上昇するなど、業種により若干のバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準は上昇が続く見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	26	0	100	0	0	26	0	100	0	0
繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
木材・家具	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
パルプ・紙	18	17	72	11	6	18	17	72	11	6
化学・プラスチック	45	2	96	2	0	45	2	98	0	2
窯業・土石	15	7	93	0	7	15	13	87	0	13
鉄鋼・非鉄	26	4	92	4	0	26	8	88	4	4
金属製品	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
一般機械	33	9	91	0	9	33	9	91	0	9
電気機械	32	0	94	6	△6	32	0	94	6	△6
輸送用機械	20	10	90	0	10	20	10	90	0	10
精密機械	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
その他	22	9	91	0	9	22	5	90	5	0
計	276	5	92	3	2	276	5	92	3	2
卸売業										
生産財	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
消費財	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
計	20	5	95	0	5	20	5	95	0	5
合計	296	5	93	2	3	296	5	93	2	3

(5) 国内航空運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、生産財卸など3業種がプラス、食料品・飲料など9業種がゼロ水準で、精密機械など3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいで推移する見込みである。このため、運賃水準は現状維持が続くとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
繊維・衣服	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
木材・家具	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
パルプ・紙	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
化学・プラスチック	38	0	100	0	0	38	0	100	0	0
窯業・土石	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	25	0	96	4	△4	25	0	96	4	△4
金属製品	18	6	88	6	0	18	6	88	6	0
一般機械	49	4	96	0	4	49	4	96	0	4
電気機械	64	2	92	6	△4	64	1	91	8	△7
輸送用機械	26	4	96	0	4	27	7	93	0	7
精密機械	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
その他	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
計	306	2	96	2	0	307	2	95	3	△1
卸売業										
生産財	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7
消費財	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
計	23	4	96	0	4	23	4	96	0	4
合計	329	2	96	2	0	330	2	96	2	0

(6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6月実績（見込み）の『料金動向指数』は、金属製品および化学・プラスチックの2業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、残り9業種がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』は△2で、前期（1～3月）実績からは小幅の上昇がみられた。

■ 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、一部の業種を除いて大きな動きはみられず、業種全体の『料金動向指数』は弱含み横ばいで推移するとみられる。このため、料金水準は低下が続く見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	55	0	96	4	△4	55	0	96	4	△4	
繊維・衣服	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0	
木材・家具	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0	
パルプ・紙	32	0	97	3	△3	32	0	94	6	△6	
化学・プラスチック	88	5	92	3	2	87	3	96	1	2	
窯業・土石	23	0	96	4	△4	23	0	91	9	△9	
鉄鋼・非鉄	48	0	100	0	0	48	0	100	0	0	
金属製品	24	8	88	4	4	24	8	88	4	4	
一般機械	58	0	97	3	△3	58	2	93	5	△3	
電気機械	74	1	91	8	△7	74	4	87	9	△5	
輸送用機械	52	4	88	8	△4	52	5	85	10	△5	
精密機械	13	0	85	15	△15	13	0	85	15	△15	
その他	37	0	95	5	△5	37	0	92	8	△8	
計	542	2	94	4	△2	541	2	93	5	△3	
卸売業	生産財	36	3	94	3	0	35	3	97	0	3
	消費財	27	0	96	4	△4	27	0	96	4	△4
	計	63	2	95	3	△1	62	2	96	2	0
合計	605	2	94	4	△2	603	2	93	5	△3	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、パルプ・紙など6業種がプラス、その他の製造業がゼロ水準で、金属製品など8業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』は△2で、前期（1～3月）実績からは小幅の上昇となった。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準まで低下する一方、繊維・衣服およびその他の製造業がプラスに上昇し、化学・プラスチックもゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『動向指数』は3ポイント上昇してプラス1と水面上に浮上しよう。この結果、物流コスト割合は概ね現状維持で推移する見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2010年4月～6月実績					2010年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	102	15	68	17	△ 2	102	15	68	17	△ 2
繊 維 ・ 衣 服	42	17	64	19	△ 2	42	21	69	10	11
木 材 ・ 家 具	40	10	75	15	△ 5	40	9	78	13	△ 4
パ ル プ ・ 紙	48	21	71	8	13	48	17	73	10	7
化学・プラスチック	112	16	66	18	△ 2	112	18	64	18	0
窯 業 ・ 土 石	42	24	57	19	5	42	24	60	16	8
鉄 鋼 ・ 非 鉄	108	21	60	19	2	108	25	60	15	10
金 属 製 品	53	15	60	25	△ 10	53	17	57	26	△ 9
一 般 機 械	91	19	67	14	5	91	21	65	14	7
電 気 機 械	134	20	56	24	△ 4	134	20	55	25	△ 5
輸 送 用 機 械	91	14	64	22	△ 8	91	15	65	20	△ 5
精 密 機 械	21	14	67	19	△ 5	21	10	71	19	△ 9
そ の 他	60	22	56	22	0	60	22	63	15	7
計	944	18	63	19	△ 1	944	19	64	17	2
卸 売 業										
生 産 財	61	18	66	16	2	60	17	66	17	0
消 費 財	48	17	71	12	5	48	10	82	8	2
計	109	17	68	15	2	108	14	73	13	1
合 計	1,053	17	64	19	△ 2	1,052	18	65	17	1